

2021年度第8回介護・障害者部会報告【案】

日時 2022年3月9日(水) 10:30~12:30

会場：日本医療労働会館5階+Zoom

出席 日野(新婦人)、栗原(全労連)、寺田(医労連)、(年金者組合)、民谷(福祉保育労)、(保
団連)、林(民医連)、小泉(自治労連)、窪田(東京)、根本(神奈川)、小松(愛知)、日下部(大阪)、
梅津(共産党)、林(中央・事務局次長)、是枝(事務局) []が出席

<報告事項>

1. 情勢(資料参照)

- ①介護職員等ベア支援加算
- ②福祉用具あり方検討会
- ③介護付有料老人ホームなどの人員配置
- ④介護サービス施設事業所調査令和2年【国保新聞】、介護サービス施設事業所調査令和2年【概況元資料】

※医労連・介護施設の夜勤実態調査について・・・来月、寺田さんより報告

2. この間の主な取り組み 運営委員会議題参照

3. 各県資料より

- ① 介護を良くする東京の会など/介護保険制度学習会
- ② 神奈川県社保協/〈介護学習交流会〉介護保険のいまと未来を考える
- ③ 全労連/ケア労働者の賃金上げろ！オンライン全国大集会 3月2日、300人以上の参加

<協議事項>

4. 介護分野の取り組みの全体見直し

○アクションプラン(2022年度版作成へ)

1月 1/26・全国一斉記者会見

1/28・新しいのち署名に結集した「署名提出院内集会・議員要請」

2月 2/25・新しいのち署名並びに介護署名・後期2倍化反対全国一斉署名宣伝行動

3月

4月 4/17 〈介護7団体〉介護集会・シンポ

4/25・新しいのち署名並びに介護署名・後期2倍化反対全国一斉署名宣伝行動

5月 介護アクション月間

5/26・統一署名提出行動、〈介護7団体〉政党懇談会予定

6月

7月 ※参議院選挙

8月 8/3 中央社保協総会

9月 9/17~18 中央社保学校

10月 介護アクション月間 10/30・全国介護学習集会

- 11月 署名提出行動
- 12月
- 1月
- 2月
- 3月

〈アクションプランを計画するにあたって〉…4 月部会で継続協議

※10/30 全国介護学習集会について・・・3/14 第1回実行委員会

※「介護の提言(案)」の学習・普及のための企画、運動化

※介護関係の各県社保協などでの学習会の録画や記録を蓄積・公開し活用へ

5. 介護集会・シンポの開催へ向けて 到達点

① 1月・2月部会での議論

- ・ 今後のたたかいの方向性

- ✓ 介護職の賃金引上げ問題を出発点に、政府の介護政策の本質やたたかいについて討論・議論していく場を設定していくこととする。

- ・ シンポジウム形式での集会を開くなどを介護7団体ともよく相談し共同して開催して方向で提案、相談を進める

- ✓ 目的

介護職の賃金引上げ問題での世論を形成し、抜本的な政策転換をアピールしていく賃金引き上げを国庫負担で行うことの要求の一致点を築きたたかいを広げていく

- ・ 以下、社保協としてのシンポのイメージ(たたき台)⇒介護7団体で詳細論議へ

- ✓ 政策動向(情勢)・問題点のミニ学習

- ✓ シンポジウム：シンポジスト 3～4人〈介護労働者、利用者の立場、事業者の立場〉で、Web 討論

② 介護7団体での現到達 別紙「4月介護集会・シンポ企画案(V1)」を参照

集会シンポ概要

- ・ 日時：2022年4月17日(日)13時～16時頃

- ・ 主催：介護7団体

- ・ 会場：完全オンライン、主催者会場(全労連会館3階会議室)

- ・ 集会名称：「介護保険を崩壊させない！集会」

※講演・講師について。

③ 部会として、上記シンポを経てのたたかいの展望も検討しておく

⇒一致点に基づき提起していくことを想定する

6. 2022年介護認知症なんでも無料電話相談

① 2022年実施にむけて

- ・ 実施日：2022年11月11日(金)10時～18時〈確定〉

- ・ 東京(メイン)会場：東京労働会館
- ・ 窓口設置社保協目標：●●都道府県社保協…各県での協議を受けて。
- ・ 2022 年開催意義
 - ✓ コロナ禍で、利用者・家族、従事者ともに困難を抱えている状況は一層増しているなかで、寄り添う相談活動
 - ✓ 各県での窓口を増やして行くことにより、相談件数を増加させ、全国・各県単位での要求の顕在化、政策化を推進し、介護改善運動を前進させる
 - ✓ 各県での窓口増加を展望し、より身近な場面での相談活動として広がりをつくり、生活相談的要素が深まっていることにたいして具体的な支援活動としていく

② 窓口設置社保協の増加をめざして・・・別紙参照

- ・ 2021 年/未実施県でフリーダイヤルがかかった本数(のべ件数) 東京社保協資料
 - 100 件以上：9 県
福岡(321)、長野(185)、長崎(163)、新潟(156)、茨城(136)、福島(112)、
富山(107)、愛媛(107)、山形(104)、
 - 100 件未満：15 県
奈良(99)、石川(86)、宮城(79)、岡山(75)、福井(71)、群馬(68)、青森(66)、
島根(44)、徳島(40)、栃木(32)、熊本(21)、佐賀(15)、沖縄(12)、大分(11)、
和歌山(7)
- ・ 全県で「相談窓口設置の検討」について積極的な検討を提起していく。特に「のべ 100 件以上の県」での窓口設置の検討は重要。

③ 今年度実施にむけての改善点〈引き続き協議していく〉

- ・ 相談内容を改めて自治体キャラバンなどで行政へ提起し、対応策・改善策を求めている。⇒**活用方法**
- ・ 相談分類として、保険料・利用料など費用負担問題や生活そのものの貧困からくる問題を統一的に把握分類するように改善が必要ではないか。⇒**統計処理**
- ・ 介護相談の枠を超えて生活そのものでの相談が多数あり、ケアプラン作成などケアマネジメントを行うケアマネージャが必死に寄り添い相談を傾聴するが、その範疇を超えた事例が多くみられた。⇒**相談員体制**

7. 2022 年度版介護改善署名の作成に向けて・・・全労連・民医連・社保協で協議していく

8. 介護 YouTube 学習動画(パワーポイントムービー)について・・・進捗状況、今後の見通し

◎次回会議 2022 年 4 月 6 日(水)10 時 30 分～12 時 30 分 中央社保協事務所+Zoom